



秋の行楽シーズンならぬ、行事シーズンが始まりました。
 一昨年は子どもたちと保育者だけで行った運動会。昨年は1歳児以上で保護者は2名の参加となりました。そして今年には3年ぶりに全園児で運動会を行うことができました。



「おとうさんもガンバレ！」電車に乗って買い物(1歳児)



「虹のむこうまで走れー」3歳児のダンス

よちよち歩きやハイハイでマットの山を越えていくひよこ組(0歳児)の可愛さ。お父さんやお母さんと一緒に巧技台の橋を渡り、買い物ごっこを楽しむ1歳組(1歳児)。初めてお家の人とは離れ、ひとりで平均台を歩き、巧技台からジャンプをして宝物を見つけると嬉しそうなき組(2歳児)。勇気を出して三角山の巧技台に登り、うまく降りることができて得意げなきりん組(3歳児)。「アンダーザシー」の曲に合わせて、ポンポンを持ちノリノリで踊りながら、友だちと顔を見合わせ楽しげな4歳組(4歳児)。毎日のように自ら練習に励み堂々とソーラン節を踊ったらいおん組(5歳児)。最後のリレーでは、海チームと山チームの白熱した走りに、これ以上ないくらいの大拍手で会場が沸きました。



全身を使っのソーラン節(5歳児)



「見て、大きなお芋もがでてきたよ」(4歳児)

その1週間後に、4、5歳児は芋ほり遠足に行き、夢中になって畑の土を掘り、土の中から大きなお芋を見つけて大騒ぎでした。2、3歳児はそれぞれお弁当や飲み物を持って、少し遠出の散歩へ出かけて、自然の中で伸び伸びと駆け回って遊びました。そして12月のおたのしみ会に向けて活動が始まっています。

コロナ禍で、いつも通り、思い通りに行かないことを経験し、行事のあり方も改めて考え話し合いをすることで、新しい発見や保育の工夫が生まれています。生活や遊びの中から生まれる子どもたちの楽しそうな様子に目を向けることを大切に、今後も保護者の方々と子どもたちの成長の喜びを共有できるような行事にしていきたいと思ひます。

主任保育士 茂木 春美



社会福祉法人あらぐさ会／わかば保育園・新杉田のびのび保育園・笹下保育園
 〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町992番地 Tel/Fax 045-443-5564
 あらぐさ会ホームページ <http://www.aragusakai.sakura.ne.jp/>

2022年11月号



ご存知ですか? 11月20日は「世界子どもの日」

「世界子どもの日」は1954年、子どもの権利の認識の向上と子どもの福祉向上を目的として、国連で制定されました。国はもちろん私たち一人ひとりが子どもの権利、最善の利益について、子どもの気持ちを大切に共に作り上げていくものです。私たちは日々そんな願いを込めて、保育に携わっています。

しかし、保育所は国の保育制度そのものが改善されなければ、改善されない仕組みです。何しろ、4.5歳児30人に保育士1人という職員配置は戦後制度ができてから70年以上一度も改善されていません。保育士1人で30人の子どもの声を聴くことは無理なことです。

いま、全国で保育制度の改善を求める声が沸き上がっています。そこで、今取り組んでいる「子どものための大幅予算の増額と、保育制度の抜本的改善を求める請願書」を、同封しました。ご協力いただける方は、お手数ですが上記のあらぐさ会あてにお送りください。(切手代はカンパをお願いします)

ロシアによるウクライナへの軍事進攻も、本当に心が痛みます。戦争を許さない声はすべての子どもたちを守ります。子どもたちにとって平和が一番大切です。

来年4月に、政府は「こども家庭庁」を創設します。当初「こども庁」の予定がいつの間に「家庭」が入り、「家庭が国の基礎単位」で「子どもの第一義的責任は保護者」というのです。もちろん子どもは親にとって宝物ですが、国の主人公になる「国の宝」です。

今後の動向に「要注意」です。



社会福祉法人あらぐさ会理事長 辻村久江